

日本の特色③「資源と産業・交通と通信」

# 農林水産業 A

 7分

1. 次の問いに答えなさい。

(1) 右下の略地図中のア～ウは、近郊農業、促成栽培、抑制栽培のいずれかがさかんな都道府県を表している。

次の文にあてはまるものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

① 夏でも涼しいため、露地栽培よりも出荷時期を遅くすることで商品価値を高める農業がさかんである。

[1]

② 大消費地に新鮮なうちに供給するために、都市周辺で野菜や花などを栽培している。

[2]



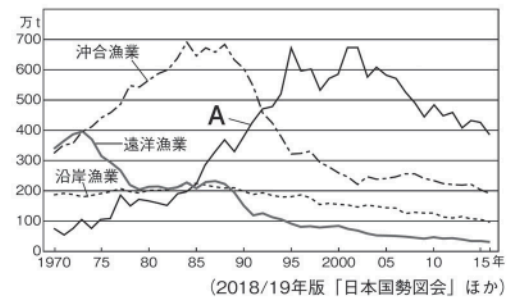
③ 温室やビニールハウスを利用し、露地栽培よりも出荷時期を早くすることで商品価値を高める農業がさかんである。

[3]

(2) 右のグラフは、日本の漁業形態別の漁獲量などの変化を示している。これを見て、次の問いに答えなさい。

① 1970年代から遠洋漁業の漁獲量が激減した理由を、簡単に説明しなさい。

[4]



② グラフ中のAにあてはまる語句は、輸出・輸入のどちらか。

[5]

(3) 次の文章中の①・②にあてはまる語句を答えなさい。

近年、日本では育てる漁業に力を入れている。いけすなどの中で魚や貝が大きくなるまで人工的に育てて出荷する漁業を（ ① ）漁業、卵からかえった稚魚などを海や川へ放し、自然の中で成長させてから漁獲する漁業を（ ② ）漁業という。

①		②	
	[6]		[7]